

『平家物語』 灌頂の巻

日本の古典文学では、軍記物語と言われる『平家物語』ですが、合戦だけではなく、その時代のさまざまな歴史の暗流を独特な語りで表現しているのが魅力です。成立も作者もわからないけれど、昔の人々はこの作品を愛し、息長く育ててきました。

今回は、作品の最後、壇ノ浦の海から引き上げられて、寂光院に住む建礼門院の物語を、一緒に読めたらと思っています。

(1)灌頂の巻① 令和8年1月17日(土) 13:30～15:30

(2)灌頂の巻② 令和8年1月24日(土) 13:30～15:30

会 場：大阪支部事務所 長堀ルーム

講 師：金治 幸子 (S45 文国)

参加費：各回 800 円

担 当：今枝 清實 (S43 文国) 090-5671-7421

E-mail/k-imaeda@forest.ocn.ne.jp

申込締切：各開催日の7日前まで



大原行幸の様子を描いた絵画



寂光院で暮らす建礼門院を描いた絵画